

# まなび

発行 松永生涯学習センター編集室  
 住所 福山市松永町三丁目1番29号  
 電話 084-934-5443  
 FAX 084-934-8251  
 メールアドレス  
 matunaga-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

## 生涯学習への誘い



信州 長野の丘にたたずむ美術館  
 そこにあるのは戦地で亡くなった  
 若き画学生たちの作品や画具  
 彼らが遺した無言のメッセージを  
 聞いてください

福山市人権平和資料館

講師 **市川 晴子** さん

講師

とき **11月8日(水)**  
 10時30分~12時

とき

場所 **松永図書館** 集会室

場所

(西部市民センター1階)

この展示は、福山市人権平和資料館で  
 一月十日(水)~一月二四日(水)に開催します。

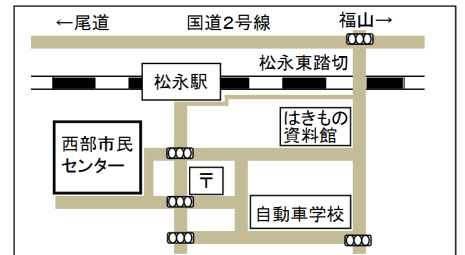
# お話

# 戦場からの絵手紙展の

# 無言館

# 戦没画学生慰霊美術館

主催：福山市松永生涯学習センター  
 福山市松永図書館  
 問合せ：電話084-934-5443  
 FAX084-934-8251  
 ※ この講座は松永生涯学習センター人権・社会教育活動事業として実施します。



## 西部市民センターまなびサロン【11月】

### パネル展示

『防災』期間11月8日(水)~11月19日(日)  
 土砂災害に対する意識の醸成や土砂災害対策に関する展示をします。  
 『LGBT』期間11月21日(火)~11月28日(火)  
 すべての人の人権が尊重され、誰もが自分らしくいきいきと暮らせる社会の実現をめざし、今回は、性的少数者をとりまく問題について取組みます。  
 ぜひご覧ください。  
 ところ 西部市民センター 1階エントランス

### 【おりばらサロン】

どなたでもご参加いただけます。はじめての方も大歓迎です。  
 とき：11月15日(水)13時30分~15時  
 ところ：西部市民センター1階サロン

【問合せ】 松永生涯学習センター  
 (電話 084-934-5443)



2017年度 福山市西部市民大学教養講座  
「イギリス ピーターラビットの舞台裏」  
～原作者ポターの生涯とヴィクトリア朝～



やまぐち ふみお

・講師：山口 史男さん

(NHK文化センター福山 講師)

・とき：11月30日(木)  
13時30分～15時00分

・ところ：西部市民センター  
多目的室(5階)



※ 一般の方も参加できます。(申込不要)



1902年に初版が出版されて以降、世界を魅了し続けている『ピーターラビット』のシリーズ絵本。その原作者【ベアト릭ス・ポター】は、キノコ(菌類)の研究に熱心で学会に論文を出すほどの研究者でした。しかし、当時のイギリスは、女性が学会に出席することは認められておらず、論文は受け取られることはなく研究者としての道も断念せざるを得なかったのです。こうした社会背景に翻弄されつつも自身のやりたいことを追求し実行したポターの生涯とその社会背景(ヴィクトリア朝の大英帝国)についてお話しします。

※ お車でお越しの方は、跨線橋下駐車場をご利用ください。

問合せ：福山市西部市民大学事務局 ☎(084)934-5443(松永生涯学習センター内)

## まつながさんぽ(柳津編)



自分たちの住む地域のことを知っていきこうと始めた「まつながさんぽ」7回目の今回は、柳津の歴史について学びます。楽しく交流しながら学びましょう。

とき 11月11日(土) 10:00～(2時間程度)

集合場所 福山市柳津公民館 駐車場

講師 田口 義之さん(備陽史探訪の会 会長)

さんぽコース 県史跡馬取遺跡、橋神社ほか。歩きやすい服装、飲み物持参でご参加ください。

対象 どなたでも 定員 20人

参加費無料・要申込み

申込み先 松永生涯学習センター

電話 084-934-5443 FAX 084-934-8251

Mail: matunaga-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

かわら

## 神村コミュニティセンター-(934-3445)

### ★人権啓発講座 理解しよう発達障がい

「発達障がいの『本質』とは?~幼児期・学齢期・成人期それぞれの本人たちの思いに寄り添う」

●とき 11月29日(水) 18時30分~20時

●ところ 西部市民センター ホール

●内容 発達障がいの有無に限らず、誰にでも得意不得意があります。発達障がいについて正しい知識をもち、理解し学習を深めます。

●講師 永井智樹さん(基幹相談支援センター クローバー相談支援専門員)

●申込み 必要 ●託児あり(要申込み)

●問合せ 神村コミュニティセンターへ

### ★子育て交流事業 「乳幼児の応急手当法」

●とき 11月17日(金) 10時~11時30分

●ところ 神村コミュニティセンター 和室

●内容 子どもに起こりやすい事故の予防と応急手当、また病気への対応の仕方

●講師 藤井雅子さん(保育士)

●対象 未就学児とその保護者

●申込み 必要 ●定員 なし

●持参物 タオル・飲み物

●問合せ 神村コミュニティセンターへ



## 情報びっくり箱



## 松永図書館(933-3770)

<11月の行事>

### ☆秋のまいにちのおはなし会

●とき 11月2日(木)~11月6日(月)

11時30分~11時45分

●内容 絵本の読み聞かせ、手あそびなど

### ☆きらきら秋のおはなし会

●とき 11月11日(土) 15時~15時40分

●内容 エプロンシアター「ねずみのよめいり」や大型絵本「どうぞのいす」などの読み聞かせ

<定例行事>

### ☆あかちゃんといっしょのおはなし会

●とき 11月13日(月)・14日(火)

11時~11時30分

●対象 乳幼児とその保護者

### ☆松永読書会

●とき 11月20日(月) 10時~12時

●読本 「ナミヤ雑貨店の奇跡」

東野圭吾/著 KADOKAWA

### ☆さくらんぼの会(こどもの本を楽しむ会)

●とき 11月27日(月) 10時30分~12時

●読本 「園芸少年」 魚住直子/著 講談社

<<図書館のお休み>> 11月21日(火)

## 人権問題講演会

# 「お互いの人権を尊重できる社会をつくるために」 ~障がい者差別とわたしたち~

人権って、なんだろう?

「人権」という言葉を聞くと「なんとなく難しそう」「自分には関係ないもの」と感じることはないですか?そんなにも難しくはありません。「すべての人が人間らしく幸福に生きていくための当然の権利」それが人権です。

**と き:2017年12月8日(金)**

**19:30~21:00**

**ところ:金江公民館 大会議室**

この度は、私たちの身近にある障がい者差別を視点にした講演会を開催します。

「障がい者差別」と人権問題について  
みんなで考え合いたいと思います。



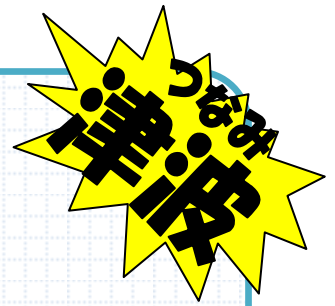
**講師**

**福山市視覚障害者福祉協会副会長**

**藤井 貢さん**

主催 高西コミュニティセンター  
(電話 084-934-2329)

協力 金江学区人権尊重推進協議会 金江公民館  
藤江学区人権啓発推進協議会 藤江公民館



まつながししよかんないごうどうほうさいくんれん  
**松永支所管内合同防災訓練**  
 ふくやましそうごうほうさいくんれん  
**(福山市総合防災訓練)**

れいねん がつ おこな  
 例年3月に行っていた松永支所管内合同防災訓練を、今年度より福山市総合防災訓練  
 おこな  
 にあわせて行うことになりました。

こんかい なんかい じしん ばっせい とき み あんぜん まも こうどう  
 今回は「南海トラフ地震」が発生した時に、すぐに身の安全を守る行動がとれるよう  
 つぎ くんれん じっし  
 に、次のとおり訓練を実施いたします。

がつ くに くに ごぜん じ  
**11月 26日 (日) 午前9時から**

ほうさいぎょうせいむせん ほうそう  
 ①防災行政無線による放送

しこうほうしゃおよ しょうぼうだんしゃりょう こうほうかつどう  
 ②市広報車及び消防団車両による広報活動

かむら 神村 いまづ 今津 かなえ 金江	ほんごう 本郷 まつなが 松永 ふじえ 藤江	ひがしむら 東村 やないづ 柳津 たかにし 高西
-------------------------------------	---------------------------------------	---

かくがっこう ちょう じしゅほうさいくんれん おこな  
 各学区（町）における自主防災訓練も行われますので、

せっきよくてき さんか ねが  
**積極的なご参加をお願いいたします。**

くんれんないよう ひなんばしょなど かくがっこう ちょう こと  
 ※訓練内容や避難場所等については、各学区（町）で異なりますので、

がっこう ちょう やくいん かた かくにん  
 学区（町）の役員の方へご確認ください。

といあわ さき まつながししよ まつながちいきしんこうか  
 問合せ先：松永支所 松永地域振興課  
 TEL(084)-930-0400



## ●●● ゲタなび ●●●●●

11月23日は勤労感謝の日です。労働には相当分の対価が支払われることで、家計が賄われています。一方でまちづくりや地域の活動は、ボランティア精神に基づく労働がなければ運営できません。私たちの社会は、さまざまな労働によって成り立っているのです。

国際化が進み、近頃はPTAや子ども会の役員になった外国人市民の保護者をちらほら見かけるようになりました。また、消防団や伝統的な祭りに参加する人も増え、外国人市民が「地域の一員」として役割を



担っています。今や、国際化は暮らしを支える大切なキーワードとなり、同じ地域で暮らす人がその恩恵を受けています。

勤労感謝の日を迎えるにあたり、それぞれの労働で暮らしを支えていただいた全ての人に感謝し、「私の協力できる労働」について考える機会になればと思います。